

国にお願いすること

- 奈良県における一般道路(国道・県道)の道路整備率は約35%で全国第47位であり、紀伊半島アンカールートをはじめとする広域道路ネットワークの整備促進、生産性向上に資する関連事業の令和8年度予算を例年以上に確保
- 2037年に迫るリニア中央新幹線の全線開業と「奈良市附近駅設置」の整備効果を最大化し、県全域に波及させるため、高速道路のミッキングリンク・ボトルネックの解消
- 継続的・安定的に国土強靱化の取組や「半島防災」を進めるため、「第1次国土強靱化実施中期計画」の推進に必要な予算・財源を通常道路予算とは別枠での確保と、ミッキングリンクの供用目標を早急に公表



<広域道路ネットワークの整備促進>

[高規格道路]

- 京奈和自動車道 大和北道路の整備促進
(仮称)奈良北IC～(仮称)奈良IC [区間①]
 - ・トンネル工事の早期着手 (6.1km)

- (仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCT [区間②]
 - ・用地取得及び工事の促進 (6.3km)
 - ・(仮称)大和郡山北IC(南側ランプ)～郡山下ツ道JCT間の次期5カ年における供用目標の確実な公表

■ 国道168号 五條新宮道路の整備促進

- 《事業区間:長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路(Ⅱ期)》
- ・用地取得及び工事の促進

■ 国道169号 奈良中部熊野道路の整備促進

- 《事業区間:伯母峯道路、下北山村前鬼～上池原》
- ・用地取得及び工事の促進

■ 名阪国道の抜本的な対策に向けた検討

- 京奈和道～名阪国道
- ・名阪国道は線形が悪く、死傷事故が多発

<舗装補修対策>

■ ならの道リフレッシュプロジェクト(舗装補修、防草対策、区画線補修)の実施

- ・令和6年度から令和10年度の5カ年計画で舗装補修を実施
 - ▶ 大型車交通量1,000台/日・方向以上の道路 ($L \approx 122\text{km}$) の損傷度Ⅱ、Ⅲ区間が対象
 - 令和7年度より、計画を拡大して、予算を集中的に追加投入
 - ▶ 自動車交通量10,000台/日以上の道路 ($L \approx 198\text{km}$) の損傷度Ⅲ区間が対象
 - ・交通量や路面性状調査、FWD調査結果に基づき計画的に舗装補修を実施

用地取得完了

- 京奈和自動車道 大和御所道路 (4.4km)
 - ・本線の早期開通にむけて、供用目標を早急に公表、工事の促進

1 (仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCT
構築下部工(R7.6)
至和歌山



- 学研都市連絡道路 清滝生駒道路の整備促進
 - ・用地取得及び工事の促進

2 (仮称)橿原JCT大阪方面
接続ランプ令和8年春開通予定
至大阪



3 清滝生駒道路
至小牧
構築上部工(R7.9)



「5カ年の舗装補修計画」で必要となる『予算の所要額の確保』

※交付金対象
損傷度Ⅲで路盤からの打ち替え等が必要な箇所

京奈和自動車道の整備による効果

～経済成長と観光立国を実現するシームレスネットワークの構築に向けて～

- 京奈和自動車道は、関西圏の環状ネットワークにおける関西大環状道路の一軸を担っており、3府県を縦貫する高規格道路である。
 - 関西圏における国土軸の道路整備と合わせて、京奈和自動車道の整備を推進することにより、経済成長と観光立国を実現するシームレスネットワークが構築される。
 - また、国土軸との直結により、関西圏のポテンシャルを最大限発揮可能となり、物流・産業拠点の連携による経済の一層の活発化、観光都市の広域的な連携の強化につながる。



各業界からの期待の声

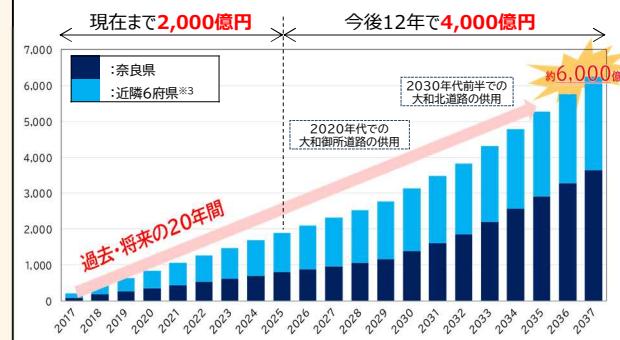


県内地域経済の

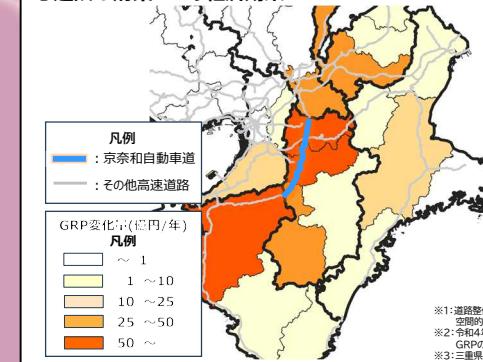
- 京奈和自動車道の整備により、南和地域と京阪神がスマーズに繋がり、製造業や物流業をはじめとする企業の物流効率が大きく向上し、地域経済が活性化する。
 - 奈良は、世界文化遺産を有しているが、アクセスの不便さが大きな課題。京都、和歌山方面と県南部地域が直結することで、新たな観光客の流れが生まれ、観光振興に繋がる。
 - 南海トラフ巨大地震等の大規模災害への備えとして、広域道路ネットワークが不可欠。京奈和自動車道が代替ルートとして、県民の安全と命を守る防災機能としての機能も發揮する。
 - 経済界としても、早期全線開通を心から強くお願いする。



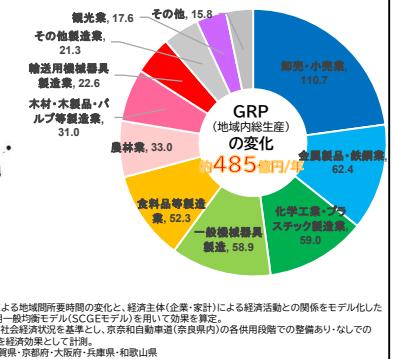
●空港がない奈良県にとって、京奈和自動車道の整備は、まさに命を守るための生命線である。

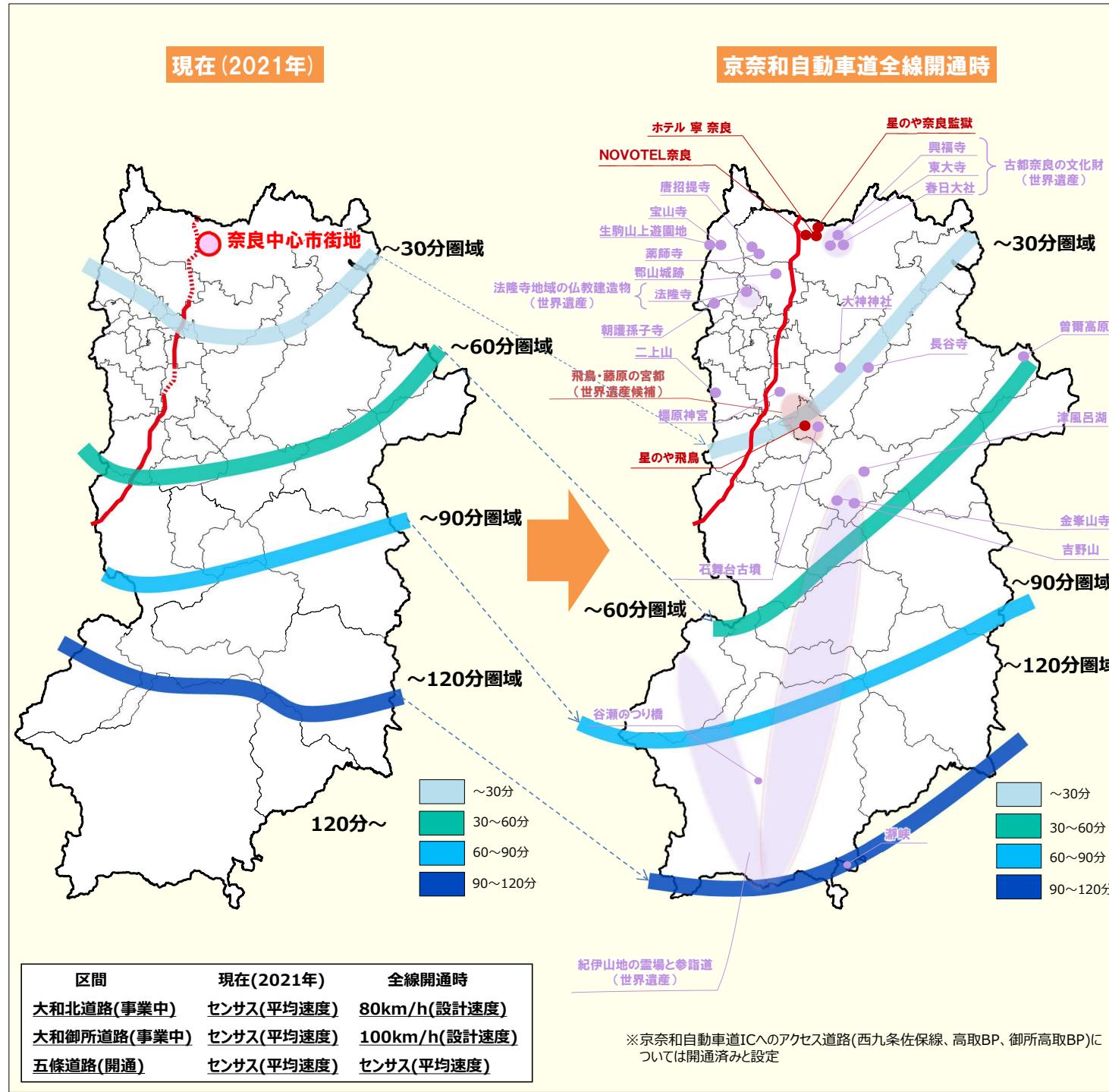


○近隣 6 府県※3への経済効果



○近隣 6 府県※3へ経済効果の産業別内訳





奈良県中部、南部エリアの主要観光地



更多資訊：www.silene.com.tw

— 10 —



写真提供：一般財団法人立命館国際センター

更多惊喜，尽在四月线上发布会

更多惊喜，尽在四月线上发布会



高橋洋一郎(日本)著　　佐藤義和(翻訳)

TOPIC

「飛鳥・藤原の宮都」における 令和8年の世界遺産登録に向けた取組について

9月にイコモス現地調査を終えました。



四

令和8年 春頃：イコモス勧告

直須・世界遺産委員会における登録可否の審議・決定

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

島・藤原の宮都(について)

の古代国家形成期において、

制が誕生・成立した過程を、

する時代の宮都の変遷から
その歴史を読みます。

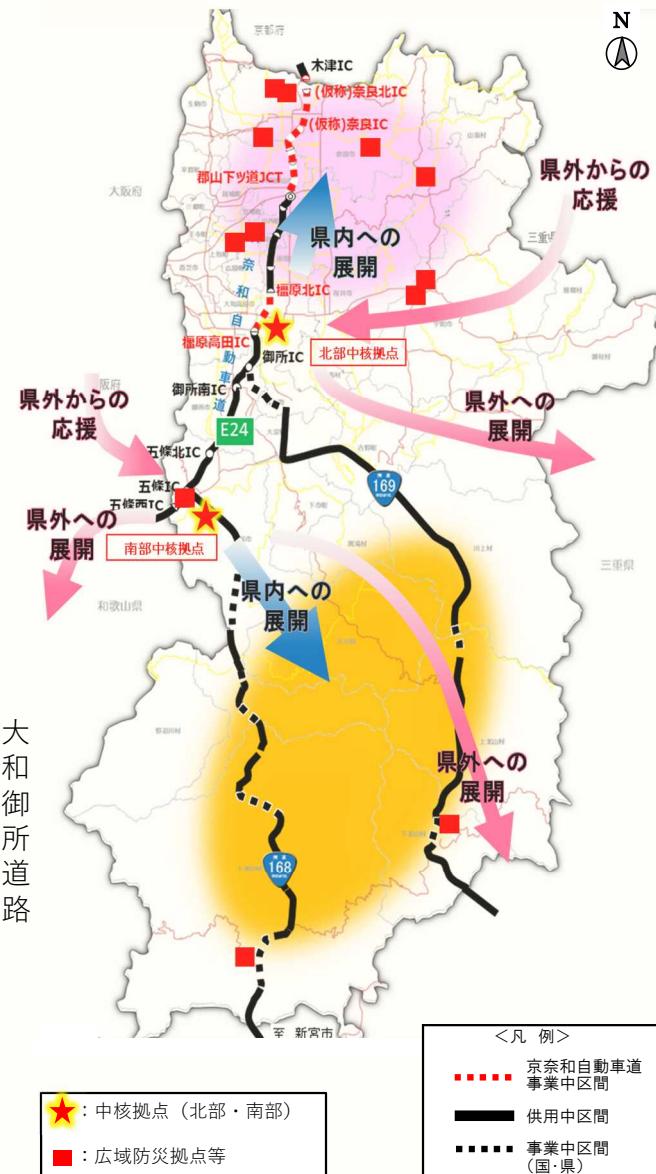
左：樋原吉、桜井吉、門口秀井
右：藤原宗咲（樋原吉）



藤原宮跡（橿原市）

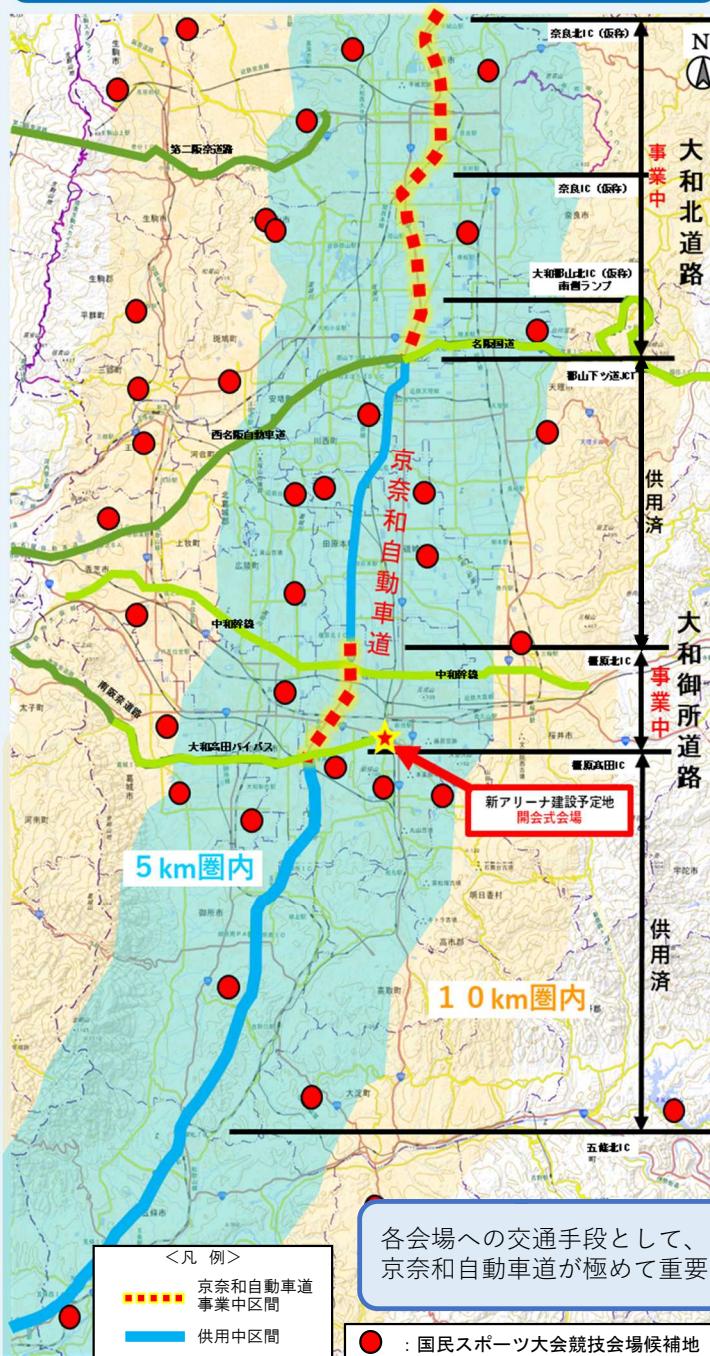
国土強靭化に向けた基盤強化～京奈和自動車道の早期整備を～

広域防災拠点等へのアクセスに不可欠



北部中核拠点及び南部中核拠点を効果的に活用するためには、京奈和自動車道をはじめとしたアンカールートの整備が不可欠

令和13年 国民スポーツ大会
全国パラスポーツ大会 の大動脈



ミッシングリンク区間の大渋滞



京奈和自動車道のミッシングリンク区間（赤点線部）及び並行する国道において、慢性的な渋滞が発生 ⇒ 早急な対策、整備が必要

* 令和3年度一般交通量調査結果WEBマップより